

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年05月21日

計画の名称	南丹市地域住宅計画												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	南丹市												
計画の目標	地域コミュニティの活性化に向けて用途廃止となる住宅を除去し整備する。また、外壁等の劣化がみられる住宅について長寿命化型改善を行う。 高齢者や障害者等の安全かつ円滑な利用に供するため、福祉対応型へ設備等の改善を進める。 居住環境の整備改善及び地域活性化に資するため、民間の空き家住宅等の活用を進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	60	A	58	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	3.33	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	市営住宅において、老朽化が著しく用途廃止が可能な住宅で地域のニーズに応じ除却すべき住宅を除却するための事業を進める。 除却を推進すべき区域内における用途廃止が可能で除却予定の市営住宅に対する除却済み市営住宅の割合(2戸) (計画期間内に用途廃止が可能で除却するべき市営住宅の除却率) = (除却された住宅) / (計画期間内に用途廃止が可能で除却するべき住宅)	66%	66%	100%
2	市営住宅において、老朽化により改善すべき住宅を躯体等の耐久性確保のため長寿命化型改善を進める。 長寿命化型改善の対象団地の割合(4団地) (計画期間内に長寿命化型改善をするべき住宅の割合) = (長寿命化型改善された住宅) / (計画期間内に長寿命化型改善をするべき住宅)	0%	0%	100%
3	市営住宅において、高齢者や障害者等の安全かつ円滑な利用に供するため、福祉対応型設備等改善を進める。 福祉対応型の設備改善を行うべき対象団地の割合(19団地) (計画期間内に福祉対応型の設備改善を行うべき住宅の割合) = (福祉対応型改善された住宅) / (計画期間内に福祉対応型の設備改善をするべき住宅)	0%	0%	100%
4	民間の空き家住宅等において、居住環境の整備及び地域活性化に資するため空き家の活用事業を進める。 活用することとしている民間の空き家住宅等の活用割合(8戸) (計画期間内に空き家の活用行うべき住宅の割合) = (活用された住宅) / (計画期間内に活用をするべき住宅)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	園部園正北団地他 長寿命化改善(外壁)21戸	南丹市						15		策定済	
	A15-002	住宅	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業)	園部特目小桜団地 除却2戸	南丹市							2		-
	A15-003	住宅	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	園部園正団地他福祉対応型住戸改善210戸	南丹市							4		策定済
	A15-004	住宅	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	日吉広小段団地 共用部分(外壁)改善12戸	南丹市							9		策定済
	A15-005	住宅	一般	南丹市	間接	民間	-	-	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業)	民間空き家住宅 活用 8戸	南丹市							24		-

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H26	H27	H28	H29	H30						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-006	住宅	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	公営住宅整備事業等(公営住宅等ストック総合改善事業)	長寿命化計画策定等	南丹市						4	-				
												小計						58				
											合計						58					

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		H26	H27	H28	H29		H30													
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	空き家再生推進事業	駐車場整備	南丹市							2	-	
		除却推進事業の推進で一体的に空地となる土地の整備及び活用の中で、一部を駐車場が不足している市営住宅の駐車場整備を行う。																		
																			2	
																		2		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 南丹市担当課において実施	事後評価の実施時期 令和3年6月
	公表の方法 市ホームページ上に公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づく改善工事を実施し、住環境の向上を図ることができた。 ・民間空き家住宅の活用を図ることにより、市の移住対策の向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし
特記事項（今後の方針等）	
今後も南丹市長寿命化計画に基づき、事業を進め、効果的かつ計画的な事業を実施し、安心・安全な住環境を整備し、向上を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
除却を推進すべき区域内における用途廃止が可能で除却予定の市営住宅に対する除却済み市営住宅の割合		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	75%
長寿命化型改善の対象団地の割合		
平成31年度に「南丹市公営住宅等長寿命化計画」を見直したことにより、1団地の工事実施を先送りしたため。		
3	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
福祉対応型の設備改善を行うべき対象団地の割合		
全面的な改修する時期に併せて改善を行うこととしたため。		
4	最終目標値	100%
	最終実績値	50%
活用することとしている民間の空き家住宅等の活用割合		
移住希望者や空き家所有者、地域団体・企業などが活用できる定住促進制度を集約した冊子「定住ガイドブックなんくら」の発行や市公式ホームページなどにより、制度周知に努めたが、地域団体からの要望件数が目標値に到達しなかった。		